

部会の位置付けに関する再確認

(第6回検討会全体会資料(抄))

■特定テーマに関するグループ討議について

- ・ 検討会メンバーを中心に実施していくものであって、内閣府に承認してもらわなければならないというものではない。
- ・ 分科会という言い方ではなくて、特定の活動について協力するメンバーやグループを募っていく。結果等については全体にフィードバックしていくしくみとする。
- ・ 基本的に、外部講師等の謝礼、メンバーの旅費負担等は事務局から支援しない。
- ・ 幹事役、副幹事役を決めて、討議内容などはとりまとめる。

【検討会出席者から承認されたテーマ】

①災害ボランティアの安全衛生

- ・ カトリーナ対応イニシアティブの翻訳等も含めて検討していく
- ・ 安全衛生関係の研究分野、もしくは工業分野の関係者と情報交換する機会を設ける
- ・ 岡野谷氏提案のグループは別途作業を進めていく

②広域連携、広域連携の情報の在り方について

③減災、平時の防災活動の重要性、情報発信について

④失敗事例の検証・分析、情報共有について

⑤企業等とボランティアの連携について

- ・ 企業、外部団体を一つの大きなくくりとし、その中でサブグループとして、自治体、CBO、企業などのグループをつくっていくことにする。